

## ART OF IBARAKI

Ibaraki Ceramic Art Museum



### 近現代日本陶芸の巨匠たち 茨城県陶芸美術館

表紙では、茨城県陶芸美術館所蔵作品の中から、文化勲章受章者及び重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品を中心に、日本の近現代陶芸を語る上で欠かせない作家たちの作品を紹介します。

富本 憲吉 とみもと けんきち

明治19年(1886)ー昭和38年(1963)

### 色絵金銀彩菱四弁花蓋付飾壺

いろえきんぎんさいいひししべんかふたつきかざりつぼ

昭和37年(1962)

茨城県陶芸美術館蔵

H18.6×W20.4cm

赤地に、金銀彩で描かれた模様が鮮やかな作品です。この模様は、富本憲吉が自邸に咲いていたテイカカズラの花の形から発想した模様「四弁花」の一種で、花卉の形を菱形にまで単純化した「菱四弁花」と呼ばれるものです。富本は、自然物などのモチーフを図案化し、独自の連続模様にして器面に展開することで、美しいフォルムと装飾が構築的に結びつく、ひとつの立体作品としての器を生み出しました。それは、これまでの実用品としての器とも、明治時代の技巧を凝らした輸出工芸品とも異なる、近代的な芸術作品としての器の誕生でした。昭和30年には重要無形文化財「色絵磁器」保持者(人間国宝)に認定、同36年には文化勲章を受章するなど、その功績は高く評価されました。

### 主な内容

- ▼平成29年度定時総会を開催
- ▼国土交通省と意見交換会
- ▼茨城県格付けが決定しました

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

### 本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行(一般社団法人)茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

# 担い手確保や生産性向上など積極的に

## 平成29年度 定時総会を開催



岡部会長



本会は5月24日に、水戸市の県建設技術研修センターで平成29年度定時総会を開催し、事業計画などを決定しました。本年度も地域を支える建設業発展のため、公共事業予算の安定的な確保・拡大に向けた要望や担い手確保・育成、生産性向上に向けた取り組みを積極的に展開していきます。なお議事終了後には、今秋任期満了となる知事選に立候補を表明している橋本昌県知事へ推薦状を手渡し、全力でサポートしていく意を伝えました。

冒頭、岡部会長は業界を取り巻く環境について「若年入職者の確保難、情報通信技術を活用した生産性向上への対応、週休2日制の導入など課題が山積している」とし「協会として時代の変化に対応していくため、各種事業に取り組むので、引き続きご協力を」とあいさつしました。

議事では、平成28年度事業報告や決算、平成29年度の事業計画、予算などを承認。役員選任(補充)では、理事に鉾田支部の根崎茂氏(株)根崎工務店代表取締役)、監事に東日本建設業保証(株)の氏家博志茨城支店長を選任しました。

続いて、今秋任期満了となる知事選に立候補を表明している橋本知事へ、岡部会長が推薦状を進呈。橋本知事は、推薦状について「大変ありがたい」と礼を述べた上で「社会資本整備が県政発展

### 橋本知事へ推薦状を進呈



に非常に役に立っている。また災害対応の観点から、地場の建設業が元気でなければいけない。総合評価方式や一般競争入札における応札可能業者数の弾力的運用などにより、地元建設業がしっかりと県の仕事をできるような環境をつくっていき」と述べました。

平成29年度表彰式を行いました おめでとうございます

総会に先立ち、平成29年度の茨城県建設業協会会長表彰式、全国建設業協会会長表彰伝達式、建設業福祉共催団理事長表彰伝達式を執り行い、建設業や協会の発展に功績を残した方に、岡部会長から表彰状や記念品が授与されました。受賞された皆さま、誠におめでとうございます。ますますのご活躍を祈念いたします。



受賞者（敬称略、順不同）

茨城県建設業協会会長表彰

【第3条（特別功労）】

長年にわたり会員の代表者および役員として建設業の健全な発展に尽力され、本会の運営に協力された方々

- ◆澤幡俊弥（常陸建設㈱、太田支部）
- ◆瀬谷實（瀬谷建設㈱、太田支部）
- ◆高倉真知子（高倉建設工業㈱、常陸大宮支部）
- ◆清水令夫（㈱清水工務店、常陸大宮支部）
- ◆石井則子（㈱角石、大子支部）
- ◆金沢春寿（㈹金沢建設、大子支部）
- ◆三澤俊介（藤和建设㈱、高萩支部）
- ◆佐藤利雄（日興建設㈱、高萩支部）
- ◆樋本和雄（大北産業㈱、高萩支部）
- ◆竹内敬子（㈹竹内組、鉾田支部）
- ◆谷田川智久（㈱ホソヤ工務店、潮来支部）
- ◆細谷武史（大昭建設㈱、竜ヶ崎支部）
- ◆原信田栄（原信田建設㈱、土浦支部）
- ◆鈴木幸男（鈴木鉄工建設㈱、常総支部）
- ◆秋田實（㈱内田組、境支部）
- ◆青木由松（㈱青木建設、境支部）

【第5条（会員の従業員）】

長年にわたり会員企業に勤務され勤労精神を発揮し顕著な功績があった方々

- ◆鶴留健一（株木建設㈱、水戸支部）
- ◆橋弘之（㈱秋山工務店、高萩支部）
- ◆小室隆雄（㈱長谷川工務店、高萩支部）
- ◆高平敏夫（常総開発工業㈱、潮来支部）

- ◆程田徹（㈱新みらい、土浦支部）
- ◆小嶋千江子（大内建設㈱、筑西支部）
- ◆塚越京子（白田工建㈱、筑西支部）
- ◆伊場克之（高塚建設工業㈱、常総支部）
- ◆池田和夫（塚田建材㈱、常総支部）
- ◆岩崎章雄（森田建設工業㈱、境支部）
- ◆落合隆（山中建設工業㈱、境支部）

全国建設業協会会長表彰

【第2条第2号】

長年にわたり建設業の健全な発展のために尽力され、その功績が顕著な方

- ◆秋田實（㈱内田組、境支部）

【第2条第4号】

会員企業の役員として多年にわたり業界の発展に尽力された方々

- ◆澤幡俊弥（常陸建設㈱、太田支部）
- ◆高倉真知子（高倉建設工業㈱、常陸大宮支部）
- ◆石井則子（㈱角石、大子支部）
- ◆三澤俊介（藤和建设㈱、高萩支部）
- ◆佐藤利雄（日興建設㈱、高萩支部）
- ◆鈴木幸男（鈴木鉄工建設㈱、常総支部）

【第4条第1号】

会員企業としての経営の合理化、技術の向上などに努め、功績が認められた企業

- ◆瀬谷建設㈱（太田支部）
- ◆㈱清水工務店（常陸大宮支部）
- ◆㈹金沢建設（大子支部）
- ◆大北産業㈱（高萩支部）

- ◆㈹竹内組（鉾田支部）
- ◆㈱ホソヤ工務店（潮来支部）
- ◆大昭建設㈱（竜ヶ崎支部）
- ◆原信田建設㈱（土浦支部）
- ◆㈱青木建設（境支部）

【第5条】

会員企業の従業員として多年にわたり、よく勤労精神を発揮され、業務に精励し他の模範である方々

- ◆鶴留健一（株木建設㈱、水戸支部）
- ◆橋弘之（㈱秋山工務店、高萩支部）
- ◆小室隆雄（㈱長谷川工務店、高萩支部）
- ◆高平敏夫（常総開発工業㈱、潮来支部）
- ◆程田徹（㈱新みらい、土浦支部）
- ◆小嶋千江子（大内建設㈱、筑西支部）
- ◆塚越京子（白田工建㈱、筑西支部）
- ◆伊場克之（高塚建設工業㈱、常総支部）
- ◆池田和夫（塚田建材㈱、常総支部）
- ◆岩崎章雄（森田建設工業㈱、境支部）
- ◆落合隆（山中建設工業㈱、境支部）

建設業福祉共済団理事長表彰

建設労災補償共済制度の普及促進に特に功績があった方々

- ◆梅原基弘（県建設業協会理事）
- ◆澤昌康男（県建設業協会理事）
- ◆佐々木孝夫（県建設業協会理事）
- ◆染谷正美（県建設業協会理事）
- ◆高橋正（県建設業協会理事）

## 受注機会確保や4週8休など議論

### 国土交通省技監と意見交換会

本会の正副会長は5月24日に、水戸市の水戸合同庁舎にて国土交通省技監と意見交換会を行い、国発注工事における地元建設業者の受注機会確保やi-Constructionの活用、4週8休工事などについて話し合いました。

冒頭、尾曾正人副会長が「現在の建設業は、若年入職者の確保、ICTを活用した効率的な施工、週休2日制の導入など課題が山積している。今回の意見交換を通じて地方建設業の現状を理解いただき、今後の発展に向けた対応をお願いしたい」とあいさつ。

意見交換では、本会が「国の大きい工事を地元建設業者が受注し、看板を掲示することが地元

建設業のイメージアップにつながり、若年入職者の確保の有効な手段になると考えている」などと、地元建設業者の受注機会確保を要望。また煩雑な書類作成を指摘し、書類の簡素化について配慮を求めました。

国土交通省側は「国の総合評価方式は、国の工事実績を重視していると思われるかもしれないが、チャレンジできる仕組みも整備している。県の工事実績があれば同様に評価できる仕組みなどを考えていきたい」などと応じました。

また、i-Constructionの普及に向けた取り組みや、4週8休制における工期や経費の問題について意見を交わしました。

## 合同企業説明会など計画

### 担い手ネットワーク協議会



本会や建設産業団体連合会、茨城労働局、県検査指導課などで構成する茨城県建設業担い手確保・育成ネットワーク協議会の本年度初会合が5月29日に開かれ、本年度の事業計画などについて話し合いました。

本年度は、6月に実施した入職者研修を皮切りに、小中学生や保護者対象の現場見学会、インターンシップの拡充、建設業合同企業説明会、フォローアップ研修をなどに取り組む計画です。

## 積極的に啓発活動

### 雇用改善へ 実践推進委員会



建設業における人材確保に向けた雇用管理改善を進めるため、本会に設置した啓発実践推進委員会(小林伸行委員長)は、5月29日に会合を開き、本年度の実施計画などを確認しました。

本年度は、雇用改善啓発のリーフレットを配布するほか、13社を対象に相談支援を行いながら取り組み事例をまとめ、若年労働者の確保・定着につなげていきます。

# 各支部が定時総会

## 29年度事業計画を決定

本会各支部の平成29年度定時総会が4月下旬から順次開催され、本年度の事業計画などを決定。各支部長が抱負を披露しました。

### 水戸支部



**尾曾 正人 支部長**

「行政や関係機関に社会資本整備の重要性を訴え、公共事業予算を持続的、安定的に確保していただくよう要望を行う。また若年労働者を確保するため、若者たちが夢と希望を持って仕事のできる職場環境づくりの取り組みを進める」

事業計画	29年度	経営講習会、雇用管理研修会、現場代理人技術研修会、優良工事現場視察研修会、清掃・美化活動、献血会、みと支部だよりの発行 など
------	------	--

### 竜ヶ崎支部



**細谷 武史 支部長**

「自然災害に対しては『命を守る公共事業の担い手』、インフラ老朽化においては『地域のまち医者』、また活力を持った『地方創生の担い手』として建設業界の役割は重要性を増している。担い手確保・育成に積極的に取り組んでいただきたい」

事業計画	29年度	研修会、講習会、意見交換会、安全パトロール、建築パトロール、「道の日」道路清掃活動、研修視察 など
------	------	---

### 太田支部



**瀬谷 實 支部長**

「発注機関に対し、予算確保と受注機会の拡大を陳情してまいります。県と協定を見直した災害時対応は、皆さまにご負担があると思うが、地域の安全安心のため、そして地域に感謝される団体となるよう努力していく。ご協力をお願いします」

事業計画	29年度	建設業推進活動、研修視察、懇談会、研修会・講習会、安全パトロール、広報奉仕活動、献血活動、グリーン会 など
------	------	---

### 土浦支部



**佐々木 勇 支部長**

「会員は優良な社会資本の提供、安全・安心を守るなど、地域経済発展に貢献している。将来にわたりその役割を果たすため、ダンピング対策の徹底、不適格業者の排除、適正利潤の確保、担い手育成など品確法の徹底に努めていただきたい」

事業計画	29年度	社会資本整備への計画的な推進への対応、不良不適格業者の排除、地域社会貢献活動の推進、技術研鑽の推進 など
------	------	--

### 潮来支部



**石津 健光 支部長**

「若年入職者が減り、技能者の高齢化が進み、われわれの業界は厳しい環境に置かれているが、地域の安心安全を守り、地域の生活の基盤を整備する社会的使命がある。関係団体と密接な関係を築きながら地域のために頑張っていきたい」

事業計画	29年度	経営者研修会、県と共催の現場代理人表彰・研修会、視察研修、鹿行地区建設業安全大会、県道上の清掃活動、産業安全衛生大会 など
------	------	---

### 境支部



**新井 孝 支部長**

「県内における公共工事量の格差が拡大しているため、地域格差の是正と発注量増加を強く要請していく。また、担い手確保へ若い人たちが安心して働ける状況づくりが課題なので、担い手確保・育成に向けて取り組んでいきたい」

事業計画	29年度	県出先発注機関との協議会、研修会、高校生の現場実習、安全パトロール、道路美化清掃活動、建設ふれあい祭り など
------	------	--

## 茨城県の新格付が決まりました

### 県内S級は土木96社、建築61社

茨城県の平成29・30年度建設工事入札参加資格者名簿（格付け）が公表されました。

県への申請業者数は、建設工事が県内2552社、県外898社の合計3450社で前回（27・28年度）より46社、1.3%の減。Sランクの業者数は土木が96社、建築が61社となりました。なお土木と舗装については、地域の中核となる建設事業者の育成に取り組むため、適正な業者数を確保。土木と舗装それぞれでA以上が24社増加しました。

適用期間は、ことし6月1日から平成31年3月31日までとなります。

次回（31・32年度）から適用開始日が4月1日に変更となることに伴い、入札参加資格申請期間が従来より2カ月程度早まります。

次回の申請期間は平成30年11月ごろとなる予定で、申請日現在有効な経営事項審査の審査基準日（決算日）が、決算期によっては1年前倒しとなる場合もあるので注意が必要です。

#### 前回の茨城県建設工事入札参加資格（格付）基準との比較

業種	格付	発注標準金額	平成27・28年度格付け			平成29・30年度格付け		
			業者数		総合点数基準	業者数		総合点数基準
			全体	県内		全体	県内	
土木	S	3千万円以上	208	79	1,140点以上	228	96	1,120点以上
	A	3千万円以上2億円未満	503	398	900～1,139点	501	405	900～1,119点
	B	1千万円以上3千万円未満	695	607	710～899点	685	605	720～899点
	C	1千万円未満	834	787	709点以下	775	731	719点以下
	計		2,240	1,871		2,189	1,837	
建築	S	3千万円以上	161	57	1,100点以上	181	61	1,040点以上
	A	3千万円以上2億円未満	141	90	880～1,099点	127	88	900～1,039点
	B	1千万円以上3千万円未満	406	363	680～879点	407	362	680～899点
	C	1千万円未満	361	341	679点以下	344	328	679点以下
	計		1,069	851		1,059	839	
電気	A	1千万円以上	328	93	830点以上	328	94	870点以上
	B	5百万円以上1千万円未満	194	130	700～829点	196	132	710～869点
	C	5百万円未満	180	147	699点以下	197	163	709点以下
	計		702	370		721	389	
管	A	1千万円以上	343	138	720点以上	346	140	740点以上
	B	5百万円以上1千万円未満	420	364	630～719点	422	368	635～739点
	C	5百万円未満	276	264	629点以下	253	241	634点以下
	計		1,039	766		1,021	749	
舗装	A	1千万円以上	300	244	930点以上	318	268	920点以上
	B	2.5百万円以上1千万円未満	405	314	710～929点	420	325	710～919点
	C	2.5百万円未満	906	871	709点以下	864	835	709点以下
	計		1,611	1,429		1,602	1,428	

## 地域内拠点を重視／BCPの評価も検討

### 茨城県土木部が総合評価ガイドライン改正

県土木部は、地元建設業者の育成・確保のため、総合評価ガイドラインの災害時地域貢献の実績、地域内拠点などの評価を改正し、6月1日の起工分から適応を開始しました。

評価項目「災害時地域貢献の実績」内には「工事箇所の存する市町村における夜間・休日の実績」を追加し、技術評価点も1点ずつ加算。評価対象は過去7カ年度に拡大します。（夜間＝午後5時～午前8時の時間帯、休日＝土日・祭日・12月29日～1月3日）

3000万円以上の出先機関発注工事では、評価項目「地域内拠点の有無」を見直し。これまでの「〇

〇事務所管内に本店」を「〇〇市（町村）に本店」に狭めた地域内拠点重視型を追加しました。

県土木部は本年度、工事量の少ない5～7月にかけて入札手続きの特例措置を講じるなど工事の早期執行に努めていることから、総合評価については、「7月15日以降に起工する一般競争入札案件全体のおおむね5割」（建築関連工事を除く）の実施率を目標に掲げました。

なお県は、来年度のガイドライン改正時に、評価項目「災害時の基礎的事業継続力（BCP）の認定」の追加を検討しているため、本年度内の対応が必要となります。

## 労災防止対策を推進

### 建災防県支部が総会



建設業労働災害防止協会茨城県支部（岡部英男支部長）の平成29年度定時総会が5月26日に県建設技術研修センターで開かれ、事業計画などを承認。本年度も安全衛生教育や安全パトロール、労働災害防止大会など労働災害防止活動を推進していく計画です。

役員選任（補充）では、新理事に羽生義隆氏（本会理事・鉦田支部長）と飛田喜代志氏（本会理事・潮来副支部長）と田中友博氏（建設業労働災害防止協会県支部鹿島分会長）が選任されました。

## 企業活動へ各種支援

### 茨城県建設業協同組合が総代会



県建設業協同組合（岡部英男理事長）の平成29年度通常総代会が5月29日に県建設技術研修センターで開かれ、第47期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の事業計画などが決定されました。本年度も生命共済・第三者賠償補償事業、経営の安定と健全な発展促進を図るための「県建設業振興資金（工事代金立替金制度）」および「地域建設業経営強化融資制度事業」を引き続き実施します。

## 新会長に小林圭一さん ◆建設未来協議会が定時総会◆



本会の建設未来協議会（増子秀典会長）による第25回定時総会が5月12日に、ホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸で開かれ、6議案を原案どおり可決し、役員改選では小林圭一氏

が会長に選任されました。小林新会長は「有効な情報を共有し、各社の発展に寄与していく」と抱負を述べました。

議事では、これまで特設委員会としていた広報委員会を本年度から常設委員会とし、戦略的な広報活動を展開していく方針を示しました。

なお議事の前には、本年の県知事選挙に向け、橋本昌県知事へ推薦状を手渡しました。

大子支部  
活動報告

### オオキンケイギク 駆除ボランティア



地道な活動によりキクの数  
年々減少しています

大子支部（大藤博文支部長）は5月25日に、特定外来生物「オオキンケイギク」を駆除するボランティア活動を行いました。活動には支部員約40人が参加し、2班に分かれてJA奥久慈特産物直売所付近から御城橋までの区域と下野宮地区の福島県との県境付近で、外来種の刈り取り作業を行いました。

当日はあいにくの雨模様ながら、支部員は各自で仕事を分担し手際よく作業に従事。キクの花を根元から抜き取り、約1030kgを駆除しました。

大藤支部長は「今回で3回目だが、一面に咲いていた2年前に比べると随分少ないと感じる。当初に比べ、現在は3分の1から4分の1ほどに減少している」と活動の成果を実感していました。

### 会員の動向

#### 〈代表者変更〉

- ▽水戸支部  
東建設(株) 小口 昇 → 小口 辰也
- ▽太田支部  
(有)生田目工務店 生田目 義昇 → 生田目 勝義
- ▽土浦支部  
伊奈工業(株) 大久保 力 → 大久保 剛

### ちよつと一言



毎年7月1日から7日が『全国安全週間』です。「平成28年の建設業労働災害発生状況」都道府県別死亡災害の発生状況を見ると、茨城県は栃木県・群馬県と比べると2倍以上です。これは気質によるものなのか、工事量によるものなのか、他に原因となるものがあるのかもしれない。どちらにしても、あの2県に負ける訳にはいかない。(笑)

この時季メロン生産量日本一、全国魅力度ランキング47位、災害発生も全国47位を目指して、皆さんご安全に! (O)